

令和5年度 事業報告書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

公益財団法人 明石文化国際創生財団

令和5年度 公益財団法人明石文化国際創生財団事業報告書

令和5年度はコロナ騒動がほぼ終息し、当財団でも通常の事業運営が行えるようになりました。

文化芸術推進事業では音楽、美術、演劇など幅広いジャンルで従前のイベントに加え新たな企画を立ち上げたほか、文化芸術月間や合同芸術祭などを開催して「文化芸術のまち」のイメージアップを図るとともに、市民が行う文化芸術活動の支援に積極的に取り組みました。

国際交流推進事業では「多文化共生社会」の実現をめざし、市内在住外国人への日本語学習支援や支援ボランティアの育成に一層力を入れるとともに、大人だけでなく子どもも他国の文化や習慣を理解できるよう講座等を実施しました。

また、明石文化芸術創生財団としての新たなスタートから12年が経過するなか、現在及び今後、当財団に求められる社会的役割を検証するとともに、市内の文化施設や他の中間支援組織との連携会議を立ち上げるなど、幅広い視点に立った財団運営に取り組みました。

I. 公益目的事業

公1 文化芸術推進事業

公2 国際交流推進事業

II. その他事業等

他1 明石フィルハーモニー支援事業

I 公益目的事業

公1 文化芸術推進事業

市民の文化的、芸術的な活動を推進し、賑わいのあるまちづくりを一層進めるため、明石市とも連携しながら、以下の事業を推進しました。

1 文化芸術事業の開催

幅広い分野の文化芸術を鑑賞・体験できるイベントや明石ゆかりの美術作家の作品展などを開催するとともに、文化芸術の鑑賞機会の提供や創作活動を行っている個人・グループへの支援を行いました。

(1) コンサート等

① あかしふれあいコンサートの開催

音楽を通じたまちの賑わいづくりや次世代育成の一環として、中高生らによるまちかどでの吹奏楽の演奏会を偶数月の土曜日午後に計6回開催し、広く市民に鑑賞してもらえる機会になりました。

[開催日及び出演者]

① 4月15日(土) 錦城中学校 17人

② 6月24日(土) 望海中学校 66人

③ 8月5日(土) 高丘中学校 52人

④ 10月14日(土) 衣川中学校 33人

⑤ 12月16日(土) 明石北高校 50人

⑥ 2月24日(土) 魚住東中学校 30人

[開催場所] あかし市民広場、イオン明石SEA PARK、市民会館中ホール

[観客] 延べ約1200人

② ひとつぶのたねクラシックコンサート

市立市民会館の共催による演奏会を、奇数月の土曜日午後に計5回開催しました。愛好家の減少が指摘されるクラシック音楽を、市民に気軽に鑑賞してもらうことができたことに加え、明石ゆかりの若手音楽家の活動の場を提供することができました。

[開催日及び出演者]

① 5月13日(土) 弦楽四重奏

ヴァイオリン：立花礼子、小野村友恵、ヴィオラ：安部 薫、チェロ：尾崎達哉

② 7月8日(土) 4本のサクソフォンによるアンサンブル

ソプラノサクソ：井上麻子、アルトサクソ：横山璃乃、

テナーサクソ：津田衣利子、バリトンサクソ：石田さと子

③ 9月9日(土) ピアノソロ&デュオコンサート

ピアノ：高石 香、鯛中卓也

④ 11月11日(土) ソプラノコンサート

ソプラノ：藤田浩恵、ピアノ：森本満穂子

⑤ 1月13日(土) クラリネットコンサート

クラリネット：新居遙輔、フルート：大江浩志、ピアノ：秋山里菜

[開催場所] 西部市民会館ホール、子午線ホール

[入場者] 総計1109人

③ 佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団明石公演事業

佐渡裕氏の指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団によるコンサートを開催し、国内最高水準のオーケストラ音楽が鑑賞できる機会を広く市民に提供しました。

[開催日] 8月2日(水)

[開催場所] 市民会館大ホール

[出演者] 佐渡裕氏と兵庫芸術文化センター管弦楽団

[入場者] 888人

またコンサートに先立ち、当日午後に佐渡裕氏による吹奏楽クリニックを市民会館中ホールで開催し、中学校の吹奏楽部員ら約60人が佐渡氏から直接指導を受けることができました。

④ 吹奏楽の夕べ(明石市芸術祭)

市内で活動する吹奏楽団体が一堂に会し、広く市民が音楽を楽しむことができる演奏会を、明石市芸術祭事業の一環として開催しました。

[開催日] 8月27日(日)

[開催場所] 市民会館大ホール

[出演者] 中学・高校・一般の吹奏楽部、吹奏楽団28団体

[来場者] 延べ約2700人

⑤ 音楽のつどい(明石市芸術祭)

市内外で活動する合唱団体が一堂に会して明石市芸術祭事業の一環として開催し、広く市民に日頃の練習成果を披露しました。

[開催日] 11月3日(金・祝)

[開催場所] 市民会館大ホール

[出演者] 市内外で活動する合唱団体22団体

[来場者] 延べ約800人

⑥ 明石薪能

歴史と文化の息づく明石のまちで「明石薪能」を開催し、多くの市民に質の高い伝統芸能の鑑賞機会を提供しました。今年度は舞台両脇に大型スクリーンを設置し、視覚性の向上を図りました。

[開催日] 10月21日(土)

[公演内容] 能「鎌腹」、狂言「天鼓」

[開催場所] 明石公園西芝生広場 組立式能舞台

[出演] 上田能楽堂
[入場者] 約1000人

⑦ 質の高い舞台芸術鑑賞機会の提供（新規）

全国レベルで活躍するアーティストを招聘してコンサートホールに足を運んでもらえるよう、「宮川彬良氏&アンサンブルベガ」のコンサートを開催。日本屈指の人気作曲家と国内トッププレイヤーの演奏により、子どもから大人まで広く市民に質の高い芸術鑑賞の機会を提供し、明石の文化芸術の発展を図りました。

[開催日] 3月3日（日）
[開催場所] 市民会館大ホール
[入場者] 741人

⑧ 文化講演会（新規）

明石市文芸祭の50回目の記念事業として、文芸分野で著しい活躍をされている県内在住の作家・小川洋子氏を招いて、講演会を開催しました。小川氏が自身の創作活動への想いや文芸活動を行う市民へのメッセージを語り、観客参加型のスマホアプリ「スライドー」を活用したおかげで会場が一体となった講演会となりました。

[開催日] 3月23日（土）
[講演テーマ] 小川洋子と文学の世界
[開催場所] 子午線ホール
[入場者] 文芸祭入賞者を含む一般市民 280人

(2) 美術展、作品展等

① MERIDIAN美術展

明石にゆかりのある若手を中心とした活躍中のアーティストの作品展を開催し、広く市民に美術作品の鑑賞機会を提供しています。令和5年度は、新しい分野であるストリングアートを追求している明石在住の美崎久美子氏による、「LINE～点と点をツナグ～」と題した作品展及びワークショップを開催しました。

[開催日] 3月9日(土)～17日(日)
[開催場所] 文化博物館ギャラリー
[出展者] 美崎久美子
[入場者] 1307人
[ワークショップ] 3月10日(日)、17日(日) 各21人参加

② ギャラリーストリートでの作品展示（新規）

アスパア明石南館1階通路の壁面「ギャラリーストリート」を、今年度から作品展示の場として活用できることとなり、市内外で創作活動を続けている作家らに発表の場を提供するとともに、市民が気軽に美術作品を鑑賞してもらえる機会となりました。

[開催期間および出展者]

- ① 4月25日(火)～5月29日(月) 藤原美南「追憶～ときのかげら～」
- ② 6月13日(火)～7月12日(水) 「NAISKA展」
- ③ 7月19日(水)～8月24日(木) 「仲元八朗水彩画展」
- ④ 9月1日(金)～9月29日(金) 「スーゾ絵本原画展」
- ⑤ 10月5日(木)～11月6日(月) 「Ai Terasawa×Kae Akisada Art Exhibition」
- ⑥ 11月11日(土)～11月30日(木) ヘッドアートフォトコンテスト受賞作品展
- ⑦ 12月15日(金)～1月18日(金) 井上広大「TRAIN&BUS WORLD おかえり。あかし」
- ⑧ 1月24日(水)～2月19日(月) メリディアンジュニアフォトコンテスト入賞作品展
- ⑨ 2月27日(火)～4月1日(月) 岩城裕也「カメレオン」

③ 新進気鋭の作家展「MERIDIAN ART WAVE 2023」(新規)

県内外で活躍する、明石ゆかりの若手アーティストが作品を持ち寄る合同展示会として今回初めて開催しました。会場では出展した6人のアーティストが作品の解説をするなど、来場者との交流機会の演出にも努めました。また、ステンシル体験等のワークショップも開催しました。

[開催期間] 9月16日(土)～18日(月・祝)

[開催場所] 文化博物館ギャラリー

[出展者] 車谷典子(日本画)、けい(木版画)、阪根友紀恵(彫刻)、
さわゆうき(金属工芸)、しみずりお(染)、津田周平(絵画)

[入場者] 442人

[ワークショップ] 9月16日(土)型彫り体験 5名参加 ステンシル体験 8名参加

9月17日(日)アート鑑賞ワークショップ「ツクル・ミラクル！」

19名参加

(3) 創作活動の発表機会の提供

① 次世代アーティスト支援事業

次代を担うべき将来有望なアーティストの活動を支援することにより、多様なジャンルのアート活動を広く市民が体感・体験できる機会を提供しました。

○ アートパフォーマンスフェスタ イン あかし

文化芸術の街づくりを推進するために、11月に設定している「あかし文化芸術月間」のメイン行事として開催しました。多様な分野のアーティストの特長を生かしたワークショップとステージイベントを通行量の多い自由通路で行うことにより、広く市民がアートに触れ、アートを身近に体験できる機会となりました。

[開催日] 11月23日(木・祝)

[開催場所] あかし市民広場

[出演者] ワorkshop 6組、ステージイベント 5組

[来場者] 約700人

○ ヘッドアートプロジェクトチーム支援事業

ヘッドアートプロジェクトチームの協力を得て、ジャンルにとらわれないアート表現の一つとして「ヘッドアート」関連事業を開催し、その芸術性を明石から世界へ発信しました。

メイクアートの芸術性を広く市民に周知するとともに、創作活動を行っているアーティストの活動意欲を喚起し、明石におけるメイクアートの高揚と芸術の発展に寄与しました。

・ ヘッドアートフォトコンテスト及び入賞作品展

フォトコンテストとして全国から作品を公募し、受賞作品を明石駅等に展示するとともに、その芸術性の高さを広く市民に披露しました。

[募集期間] 7月1日～9月5日

[発表] 11月9日(金)WEBサイト上で発表

[応募作品] フォト部門117点、イラストレーション部門19点

[入賞作品展示場所] アスピア明石ギャラリーストリート：11月11日(土)～30日(木)

・ 本気で怖いきもだめし

特殊メイクと演技のワークショップを開催し、メイクアートのもつ芸術性や、演劇を身近に感じてもらい、地元の神社で「きもだめし」を実施することで、成果披露の機会としました。

[開催日] 8月26日(土)

[開催場所] 岩屋神社

[ワークショップ受講者] 15人

[来場者数] 650人

- あかしDEミュージカル（町劇A k a s h iによる演劇ワークショップ「ピンクの魔女」）
演劇という文化を通して、年代を超えた市民交流を推進するとともに、子どもたちの豊かな心と身体を育む取り組みを進めるなか、劇場へ行くことの敷居を下げ市民が気軽に演劇を鑑賞できる機会を提供し、演劇文化の発展・普及を図りました。

[開催日] 11月18日(土)

[ワークショップ] 9月～11月の土・日・祝 全20回

[開催場所] 市民会館中ホール

[出演者] 小学生から高校生の明石市民20人と地域の劇団員

[入場者] 150人

- 若手演奏家クラシックコンサート

若手クラシック演奏家による「明石クラシックコンサート」を開催し、発表機会の提供と明石におけるクラシック音楽の普及を図りました。

[内容] 「ロベルト・シューマン愛と喜びのクインテット」

[開催日] 2月23日(金・祝)

[開催場所] 西部市民会館ホール

[出演者] 坂本彩(ピアノ)、ほのカルテット(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)

[入場者] 296人

② 明石市合同芸術祭

芸術祭事業を合同で開催することにより、団体同士のコラボやワークショップを通じてそれぞれの活動の一層の活性化を図るとともに、より多くの市民が芸術祭に参加できる機会となりました。

[開催日] 10月28日(土)、29日(日)

[主な内容]

- ダンスカーニバル

市内外で活動する15の洋舞団体によるダンスパフォーマンスの発表会

- いけばな展

市内外で活動するいけばな団体11流派による57作品

- お茶会

市内外で活動する茶道の団体による茶会

- 民舞と邦楽のつどい

市内外で活動する民舞・邦楽分野の3団体による伝統文化19演目の発表会

- 明石市文化団体連合会に所属する団体と連携した催しの開催

いけばな体験、民踊体験、吟詠体験

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[出演者] 明石市文化団体連合会に所属する15団体を中心とする文化グループ

[来場者] 延べ約2000人

③ アーティスト連携事業

- 「オペラシアターこんにやく座」との協働事業（新規）

市内の演劇関係者との連携で、日本語オペラをレパートリーとする劇団「オペラシアターこんにやく座」による子ども向け作品を上演しました。また、公演出演者によるワークショップでは、お芝居とオペラの貴重な体験機会を提供することができました。

[開催日] 6月11日(日)

[開催場所] 西部市民会館ホール

[内容] 子ども向けオペラ「口はロボットの口」

[入場者] 381人

[ワークショップ] 5月4日(日)、西部市民会館練習室において、小学1年生から70歳代後半までの24人が、公演出演者の指導による芝居・オペラを体験。

○ 明石の伝統芸能「日本の伝統文化に親しむ年始め」

市民会館との共催により、市内及び近隣で活動する伝統芸能の指導者等による質の高い舞台芸術の鑑賞機会を提供し、後進育成を図るとともに伝統芸能に関する市民の理解を深めました。

[開催日] 1月14日(日)

[開催場所] 西部市民会館ホール

[出演者] 市内で活動する舞台芸術関係者

[入場者] 約300人

○ 明石ペンクラブとの協働事業

明石文化団体連合会の文芸部門構成団体である明石ペンクラブの作品集「新・明石大門」の発行について、当財団との共催事業として実施し、市民の文芸活動の支援につなげるとともに、広く市民に文芸に触れる機会を提供しました。

(4) 創作活動のコンテストの開催

① 明石市美術展(明石市芸術祭)

市内外から作品を公募し、市長賞をはじめとする優秀作品の表彰式と入選作品展を開催して市民の創作意欲の向上を図るとともに、広く市民に美術作品を鑑賞してもらえるように努めました。今回は一般の部が第70回、ジュニアの部が第10回の節目を迎え、それぞれ記念賞を設けました。

[募集期間] 8月～11月

[応募者] 一般(美術作品の創作活動を行っている人)、ジュニア(小・中学生)

[応募作品] 一般 洋画、日本画、書道、彫刻・工芸、写真の5部門 272点
ジュニア 書道、絵画の2部門 604点

[開催場所] 文化博物館ギャラリー

[作品展示期間] ジュニア: 11月15日(水)～19日(日)

一般前期: 11月22日(水)～26日(日) 日本画・彫刻工芸・書道

一般後期: 11月29日(水)～12月3日(日) 洋画・写真

[入場者] 延べ2498人

[入賞作品] 一般 : 市長賞、議長賞、美術協会賞、第70回記念賞 各部門1点
奨励賞 五部門で計40点

ジュニア: 市長賞、議長賞、美術協会賞、第70回記念賞

小・中学生別に各部門1点

[表彰式] 12月2日(土) 文化博物館

② 明石市文芸祭

市内外から文芸作品を公募し、市長賞をはじめとする優秀作品の表彰式を開催するとともに入選作品集「ことのはものがたり」を発行し、市民の文芸への関心高揚と創作意欲の向上を図りました。第50回目を迎えた今回は、県内在住の作家・小川洋子さんの講演会を表彰式当日に開催し、節目の年に花を添えました。

[募集期間] 7月1日(土)～8月31日(木)

[応募者] 一般、ジュニア(小・中学生)

[募集作品数] 一般 俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門 2,295点
ジュニア 俳句、川柳、短歌の3部門 3,328点

- [入賞作品] 一般 市長賞、議長賞、教育長賞、神戸新聞社賞（各部門1点）、
実行委員会賞（各部門1～5点）
ジュニア 市長賞、議長賞、教育長賞、神戸新聞社賞（小・中学生別に各部門1点）、
実行委員会賞（小・中学生別に各部門8～10点）
- [表彰式及び記念講演会] 3月23日（土）子午線ホール

③ ちびっこアーティスト育成事業

○ Greatest Kid's Talent

18歳以下のちびっこアーティストの芸術活動動画を公募し、1次審査を通過した10組にステージで発表してもらい、最優秀賞等を選出・表彰しました。

[募集部門] 伝統芸能系演技、演劇、ストリートパフォーマンス、ポピュラー音楽

[ステージ発表/最終審査日] 12月10日(日)

[開催場所] 西部市民会館ホール

[出演者] 市内・近隣市町在住の子ども10組21人

○ メリディアンジュニアフォトコンテスト

子どもたちに表現することの楽しさを感じてもらい、芸術活動を身近に感じてもらうと、18歳以下の若者を対象に写真作品を公募しました。また、入賞作品15点をアスピア明石のギャラリーストリートで展示し、さらなる創作意欲の向上を図りました。

[募集期間] 8月1日(火)～9月15日(金)

[応募点数] 全国の小・中・高校生からの144点

[展示期間] 1月24日(水)～2月19日(月)

○ 名刺デザインコンテスト

明石に関わりのある若手アーティストの発掘・育成を目的として、明石高校美術科の生徒を対象に名刺デザインを募集しました。最優秀賞1点、優秀賞2点に選出された3作品は、財団職員の名刺台紙として活用しており、名刺フォーマットはホームページでも公表しています。

(5) 学校での文化芸術の鑑賞機会の提供

① 学校へのたこフィル派遣事業（拡充）

明石フィルハーモニー管弦楽団（たこフィル）を市内の学校へ派遣し、良質な音楽の生演奏を子どもたちに提供したほか、市内福祉施設等での生演奏も行いました。

[開催日] 通年

[派遣先] 市内小・中・養護学校 等

[派遣アーティスト] 明石フィルハーモニー管弦楽団（アンサンブル）

2 文化芸術活動支援事業

多様な文化芸術の担い手が連携・協働する拠点としての緩やかな相互ネットワークの形成を図り、アーティストや文化団体、地域住民、行政とのコーディネートや、市民やアーティストのプラットフォーム機能の充実、情報提供、助成、相談など、中間支援組織としての役割を担い、地域の文化芸術の推進を図りました。

(1) プラットホームを提供し、緩やかな相互ネットワークの形成を図る事業

① 文化芸術関係施設・機関ネットワーク会議「あかCネット」(新規)

市立文化施設と文化芸術に関連する中間支援組織とが一堂に会し、それぞれの機関が事業を運営するなかで抱えている課題や問題点について情報共有する場として、ネットワーク会議を開催しました。当財団が他組織への参加呼びかけや会場確保、当日の進行などの事務局機能を担い、相互の連携強化や事業の協働実施などの足掛かりを作ることができました。

[参加団体] 文化施設：市立天文科学館、市立文化博物館、市民会館、市立図書館
中間支援組織：明石コミュニティ創造協会、明石観光協会

② あかし市民図書館、西部図書館へのアーティスト派遣

生演奏を間近で聴ける機会を市民に提供するとともに、財団に登録しているアーティストに公の場での演奏機会を提供するため、あかし市民図書館が開催している「まちかどミニコンサート」にアーティストを派遣しました。「あかCネット」の参加団体との協力事業ということもあり、スムーズに調整することができました。

[派遣実績] 登録アーティスト 年間9組

[参加者数] 各回20人

③ 文化芸術活動団体やイベントの実行委員会事務局の分担

それぞれの活動が円滑に行われるよう明石文化団体連合会(明石市芸術祭)、明石薪能、明石市文芸祭などの実行委員会事務局を担当し、事業の実施や実施方法について関係団体との調整を行うことで、市民の文化芸術活動を支援しました。

④ アートマネジメント講座

美術、音楽や演劇などの企画から実施、資金集めや広報などの実践的な技能に加え、アートと社会の関わり方に至るまで、より多くの人に、より質の高い芸術に触れる機会を提供することができるようアートマネジメント講座を開催しています。今年度は、著作権の基礎を学ぶ講座を開催しました。

[開催日] 2月2日(金)

[講師] 明石市教育委員会法務担当課長 土井健太郎氏

[参加者] 著作権に関心のある市民等28人

(2) 文化芸術活動に関する情報の発信や共有により市民の活動を支援していく事業

① 機関紙・広報紙の発行

財団の事業内容をPRするとともに、市内の文化芸術事業・イベント、市内で活躍するアーティスト、市内の文化芸術活動や文化財などを広く紹介するなかで活動の支援を進めました。

○ 財団機関紙「創生」の発行

財団の事業内容のほか、市内の文化芸術活動や文化財などを紹介し、市民の文化芸術活動を支援しました。

[発行] 年3回(6月、10月、2月)、各回3300部

○ フリーペーパー「MEIBUNGEI NEWS」の発行

財団主催事業に加え、市内で開催される各種文化芸術事業やアーティスト等を紹介し、市民の芸術活動への参加を推進しました。

[発行] 年6回(偶数月)、各回3000部

② 文化芸術情報の発信

○ メールマガジンの配信

市内で開催される各種文化芸術事業や財団事業、活躍するアーティスト等を紹介し、市民の芸術活動への参加を推進しました。

[発信] 毎月1回配信

[配信数] 各回約600件

○ ウェブサイトによる情報発信

市民等が最新の必要な情報をスムーズに取得できるよう、よりシンプルで分かりやすいホームページへの改修に努めました。

○ SNS・動画の活用

文化芸術に関心のある特に若い世代に即時性の高い情報を届けられるよう、SNSや動画の一層の活用に取り組みました。

③ 文化芸術関係資料のデータベース化

地域の文化芸術の発展に意欲あるアーティストを登録し、あかし市民図書館でのミニコンサートを始め各種イベント等に紹介するとともに、文化財や文化施設、民間の文化芸術活動に関係する各種教室など、明石の文化芸術関係資料のデータベースの1つとして、本財団ホームページでの公開を行いました。

④ デジタルアートの推進

視覚や聴覚に障害がある人もそうでない人も、ともに遊び感じることでできるデジタル技術を活用した「共遊楽器」を用いて、アートを体験してもらえよう、「デジタルアートを学ぶ・触れる・遊ぶ〜共遊楽器の世界観〜」を開催しました。ワークショップを同時開催して全体の盛り上げを図ったものの、PR不足のため来場者数が伸び悩み、新分野への情報発信方法に課題を残しました。

[開催日] 9月2日(土)～3日(日)

[開催場所] 文化博物館ギャラリー

[講師] 神戸芸術工科大学准教授 金箱淳一氏

[来場者] 展示会137人/ワークショップ14人

(3) 文化芸術活動に関する相談への助言、斡旋および助成を行う事業

① 文化芸術振興助成事業(拡充)

明石市内において文化芸術活動を行う団体・グループ、アーティストに対して、文化芸術事業経費の一部を助成することにより、市民や子どもたちが文化芸術を身近に触れ親しむ機会の増加を図るとともに、明石市内を活動拠点とするアーティストの支援に努めました。

○ 文化芸術振興活動助成金

広く市民が文化芸術活動へ参加、鑑賞できる事業や市民に文化芸術を普及啓発する事業の経費の一部を助成しました。

[助成団体数、金額] 21団体 合計1,044,000円

①明石美術協会、②明石合唱連盟、③明石市民舞踊文化協会、④明石邦楽協会、

⑤明石市吟詠連合会、⑥明石伝統芸能協会、⑦明石混声合唱団、

⑧明石管弦楽団「詩五線」、⑨明石西シンフォニックバンド、

⑩明石子午線ウィンドオーケストラ、⑪垂水シンフォニックウィングズ、⑫明石吹奏楽団、

⑬シンシアウインドオーケストラ、⑭レガロウインドオーケストラ、⑮デッサン子午線、

⑯邦楽グループゆほびか明石、⑰ニューイヤーコンサート実行委員会、

⑱明石弦楽オペラ会、⑲ムジカライゼ、⑳いぶき俳句会、㉑iris音楽企画

○ 子ども文化芸術活動助成金

18歳以下の子どもたちが文化芸術を体験、鑑賞できる事業やアーティスト志望の若者を育成する事業の経費の一部を助成しました。

[助成団体数、金額] 6団体 合計400,000円

- ①明石いけばな協会、②明石市吹奏楽連盟、③ピューブルサクソフォンアンサンブル、
④NPO法人明石おやこ劇場、⑤あかしDEキュン吹、⑥AAFA芸術協会

○ アーティスト活動助成金（新規）

市内で活動するアーティストに助成することにより、文化芸術の振興、文化芸術の新たな魅力の創出につなげています。今年度は、市内のアマチュアジャズ演奏家・愛好家で構成する「タコタコジャズフェスティバル実行委員会」が企画運営するジャズイベントに費用の一部を助成し、広報を行うなど伴走支援しました。

[開催日] 9月3日(日)

[開催場所] あかし市民広場

[内容] 市民参加型の公開ジャムセッション

[来場者等] 参加者20組/入場者約200人

② 相談への助言、斡旋等

文化芸術に関する相談に対しての助言やアーティストの紹介等を行いました。

市民やアーティストが日頃感じている明石の文化芸術の課題やニーズの把握に努め、スクラップアンドビルドを行うなど、新たな事業展開につなげることができました。

[相談件数] 15件

- [主な相談内容]
- ・アーティストの紹介や美術作品の展示場所など美術関係
 - ・ミュージシャンの紹介や演奏場所など音楽関係
 - ・イベントの実施方法に関する相談や助言
 - ・各種イベント等についての問い合わせ など

③ 後援名義の使用許可

後援名義の使用許可申請に対して審査許可を行い、各種イベントや活動を支援しました。

[後援名義使用許可件数] 51件

公2 国際交流推進事業

市民の国際交流や多文化共生を推進し、多様性を尊重した国際性豊かな市民文化の創生に寄与するため、明石市とも連携し、次の事業を推進しました。

1 国際理解に関する事業

国際交流に関する市民の関心を高めることを目的に、世界各国の文化への理解を深める事業や身近な地域で生活する外国人との交流事業のほか、在住外国人が日本文化を体験できる事業を行いました。また、財団の活動等を紹介するため、市民や在住外国人に向けての広報活動の推進に取り組みました。

(1) 市民が国際理解を深めるための事業

① 国際理解セミナーの開催

異なる文化や生活習慣を持つ人々が、お互いを尊重し、ともに暮らすことができる地域社会の実現に向けて、外国人講師から外国文化を学ぶセミナーを開催しました。

[開催日] ① 6月3日(土) 講師：マーティン・ホルマン氏

(人形芝居徳米座座長・米国出身)

「人形浄瑠璃に魅せられて：日本伝統の人形芝居と私」

② 1月27日(土) 講師：にしゃんた氏(羽衣国際大学教授・スリランカ出身)

「“違い”を楽しみ、力に変えよう」

③ 3月12日(火) 講師：スブラマニアン・アーヴィン氏

(加古川市国際交流協会国際交流員・米国出身)

「Where Do I Belong? インド系アメリカ人としての私のアイデンティティ」

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 一般市民 計218人

(2) 市民と外国人との日本文化体験・交流事業

① 日本文化鑑賞会・日本文化体験

市民と在住外国人と一緒に日本の伝統文化を体験し、鑑賞する機会を提供し、交流を推進しました。

○ 明石薪能鑑賞(伝統文化の鑑賞)

[開催日] 10月21日(土)

[開催場所] 明石公園西芝生広場 組立式能舞台

[参加者] 市内在住外国人等 約20人

○ 合同芸術祭参加(伝統文化の体験)

[開催日] 11月4日(土)～5日(日)

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 市内在住外国人等 約10人

② 子ども異文化体験

子どもたちが異文化を身近に感じ、多文化共生社会への理解を深めることができるように、イベントを開催し外国の文化に楽しく触れる機会を提供しました。

[開催日] 7月26日(水)「南インドのお話とボリウッドダンスを踊ろう！」

[開催場所] 複合型交流拠点 ウィズあかし

[参加者] 子どもと保護者 8人

(3) 広報活動の推進

① 広報活動の推進

財団の機関紙、ホームページ、メールマガジン、SNSの活用等を通じて、国際交流や多文

化共生に関する事業をはじめ、国際交流活動をされている団体や個人に関する情報等を広く紹介し、多様な世代の市民の国際交流活動の推進を図りました。

② 財団チラシ（多言語版）の作成

財団の活動や事業内容について、在住外国人に広く周知を図るため、転入外国人向けの国際交流事業を紹介するチラシやイベントのチラシを作成しました。

〔作成チラシ〕 いろはクラブ交流会 /いろはCafé チラシ
明石薪能（英語版）

③ SNSの活用

財団の活動や事業について、在住外国人に広く周知を図るとともに、在住外国人とのネットワーク形成にも繋がるようフェイスブックにより情報を発信しました。

2 国際交流・協力に関する事業

在住外国人や外国からの訪問団を支援する国際交流ボランティアの養成、スキルアップを進めるとともに、国際交流・国際協力に取り組む地域の団体への活動助成を行いました。また、長く続いている姉妹都市・友好都市との交流事業については、明石市と連携して取り組みました。

(1) 国際交流事業ボランティア支援・養成事業

① ボランティア募集・登録・派遣事業

市民主体の国際交流活動や外国人住民との交流を推進するため、広報紙等を活用してボランティアを広く募集・登録し、派遣先からの要請に対応できるよう体制を整えました。

[登録者数] 約300人

[募集方法] 広報紙、ホームページなど

[派遣先] 市内・近隣の学校、地域など

[主なボランティア活動の内容]

- ・ゲストティーチャー（学校での特別授業など）
- ・ホームステイ、ホームビジット（外国人の家庭での受け入れ）
- ・翻訳・通訳（訪問外国人に対する通訳やパンフレットの多言語化など）
- ・日本語学習支援（市内在住外国人を対象とした日本語の学習指導）

② ボランティア養成講座

○ ホームステイボランティア英会話講座（新規）

明石市の姉妹都市である米国バレーホ市からの訪問団をホームステイで受け入れるボランティア確保を兼ねて初中級向けに開催しました。結果的に訪問団のホームステイでの滞在はなくなりましたが、新たなボランティア登録につながることができました。

[開催期間] 4月～6月 10回開催

[参加者] 一般市民 8人

○ 日本語学習支援ボランティア養成講座・ブラッシュアップ講座

在住外国人を対象とした日本語学習支援講座の指導ボランティアを養成するための講座と指導力向上のためのブラッシュアップ講座を開催しました。

[養成講座] 令和6年1月～3月 6回講座

[ブラッシュアップ講座]

- ① 7月1日（土） 「対話ができる支援者になろう！対話活動で伸びる・伸ばすコミュニケーション力～実践編～」
- ② 9月9日（土） 「漢字ってどうやって教えるの？勉強するの？～一緒にやってみよう！～」
- ③ 3月16日（土） 「文字学習を楽しく学ぶためのポイント～文字の学習支援・生活の漢字について考えよう」

[参加者] 日本語学習支援ボランティア等 計61人

○ 英語翻訳・通訳ボランティアスキルアップ講座

地域で生活する外国人を支える語学ボランティアに対して、英語の翻訳や通訳のスキルアップを図るための講座を実施しました。今年度は米国バレーホとの姉妹都市提携55周年記念の、同市からの訪問団に対する通訳ボランティアとしての活躍も見込んで開催しました。

[開催期間] 8月～9月 8回開催

[参加者] 翻訳・通訳ボランティア等 21人

○ 多言語ボランティア基礎講座

市内では英語圏以外の外国人が増えており、英語以外の言語での日常会話を中心とした基礎

講座を実施しています。国際交流活動を進める中で相手の母国や母語について学ぶことでより良い関係を構築しようとするもので、今年度はベトナム語の入門講座を開きました。

- [開催期間] ① 5月～7月 6回開催 『入門中国語と文化を学ぼう!』
② 2月～3月 6回開催 『入門ベトナム語と文化を学ぼう!』
[参加者] ボランティアを志す一般市民 27人

(2) 国際交流活動の協力支援事業

① 国際交流活動助成事業

青少年の国際交流活動や在住外国人児童の居場所づくりなど、市内において国際交流や多文化共生に係る活動を行う団体を支援・促進するため、事業補助としての助成金を交付しました。

[助成団体数、金額] 3団体 合計180,000円

- ①みんな de にほんご
- ②西明石日本語教室
- ③特定非営利活動法人多文化センターまんまるあかし

(3) 姉妹都市・友好都市交流事業

① 姉妹都市交流事業

米国バレーホ市との姉妹都市提携55周年を記念して来明した交流団の受入事業を、明石市から受託しました。受け入れに際しては当財団の登録ボランティアを通訳として派遣したほか、訪問団員と明石市民とが英語で会話する「Vallejo English Café (バレーホイングリッシュカフェ)」を開催し、両市の市民間交流を深めることができました。

○ 姉妹都市提携55周年記念交流団

[受入期間] 10月30日(月)～11月2日(木)

[受入人数] 10人

○ Vallejo English Café

[開催日] 11月1日(水)

[参加者] バレーホ市からの訪問団員 10人
バレーホ市民と交流を希望する一般市民 19人
財団登録通訳ボランティア 11人

② 友好都市交流事業

友好都市・中国無錫市からの訪問団受入事業を明石市から受託し、市民間の交流活動を支援しました。

○ 無錫市友好交流団

[受入期間] 5月9日(火)

[受入人数] 9人

○ 無錫市研修生(子ども・子育て支援)

[受入期間] 1月29日(月)～2月7日(水)

[受入人数] 4人

3 多文化共生に関する事業

外国人住民が地域で安心して暮らせる環境整備を図り、多文化共生の住みよい地域づくりへの推進事業を行いました。日本語（言葉の壁）や生活習慣の違いに戸惑う外国人住民が、日本への理解を深め、日本の生活習慣に慣れていくため、日本語学習支援や、地域生活で役立つ多言語による情報の提供、生活の中で直面する問題について相談対応などを行いました。

(1) 日本語学習支援事業

① 日本語学習「いろはクラブ」の運営（拡充）

市内に在住する外国人が日常生活に必要な日本語を、登録された日本語学習支援ボランティアから、マンツーマンレッスンやクラスレッスンで学ぶことができる日本語学習講座「いろはクラブ」を運営しました。また就学前の幼児を持つ人が気兼ねなく学習できるよう、ウィズあかしの和室で託児をしてもらいながらレッスンを受けられる「和室いろは」を、今年度新たに始めました。

〔開催回数〕	マンツーマンレッスン	延べ869回
	オンラインレッスン	延べ81回
	和室いろは	延べ63回
〔開催場所〕	複合型交流拠点 ウィズあかし	
〔指導者〕	マンツーマンレッスン	64人
	オンラインレッスン	10人
	和室いろは	13人
〔学習者〕	マンツーマンレッスン	77人
	オンラインレッスン	10人
	和室いろは	6人

(2) 多言語による情報・相談事業

① 生活相談のサポート

市内に在住する外国人からの生活にかかる相談や問い合わせに対して、適切な窓口を紹介し、登録された翻訳・通訳ボランティアを派遣するなど、多言語による生活相談をサポートしました。

〔相談事例〕

- ・年金受給のための必要書類に関する相談
- ・外国にルーツを持つ子どもの幼稚園でのサポート体制に関する相談
- ・ゆうちょ銀行口座開設の書類作成サポート
- ・マイナンバーカード申請の付き添いサポート など

② SNSによる生活情報提供

市内に在住する外国人への生活面のサポートとして、フェイスブックを活用してやさしい日本語や多言語による生活情報、行政からのお知らせ等を提供しました。

(3) 地域における国際交流事業

① 異文化交流広場

地域で生活する外国人と市民が気軽に交流し、相互理解を深める機会を提供しました。簡単なゲームの実施や子どもスペースやおもちゃコーナーの設置で、子ども連れでも参加しやすい雰囲気づくりに努め、新たな交流の機会を創出することができました。

〔開催日〕	①12月21日（木）「いろはクラブ おはなしC a f e」
	②7月29日（土） 「やさしい日本語で話す交流会①」
	③1月20日（土） 「やさしい日本語で話す交流会②」
〔参加者〕	在住外国人、一般市民等 71人

② やさしい日本語講座（拡充）

在住外国人と市民との交流を促進するため、地域の人々を対象に、外国人が聞き取りやすい「やさしい日本語講座」を明石市と連携し、開催しました。

〔開催日等〕 ① 4月21日（金） アスピア明石（エリアマネジャーとコミセン職員対象）

② 5月13日（土） 朝霧コミセン

③ 6月24日（土） 二見コミセン

④ 10月14日（土） 江井島コミセン

⑤ 2月17日（土） 望海コミセン

〔参加者〕 エリアマネジャーとコミセン職員20人、一般市民39人

③ 学校における多文化共生事業への支援

市内の学校からの要請に応じて、多文化共生に関する学習に対してボランティアの派遣や生徒の受け入れなどを行い、学校教育における取り組みを支援しました。

○野々池中学校への外国人ボランティア派遣

○明石清水高校からのインターンシップ受け入れ

II その他事業

他1 明石フィルハーモニー支援事業

明石フィルハーモニー管弦楽団及び明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラが演奏活動やアウトリーチ活動を計画的・効果的に行い、明石フィルハーモニー協会がオーケストラを自主的に運営していけるよう助言するとともに、演奏会場や練習会場、楽器倉庫の確保及び後援会組織「たこフィル倶楽部」運営などのサポートを進めました。

Ⅲ 財団の管理運営に関する事項

1 理事会の概要

開催年月日	案件番号	案 件	可否
令和5年4月11日 (第42回) 書面決議	議案第113号	常務理事の選定について	可決
令和5年5月18日 (第43回)	議案第114号 議案第115号 議案第116号 議案第117号 議案第118号	令和4年度 事業報告について 令和4年度 決算報告について 理事、監事候補者の推薦について 第24回評議員会の開催について 評議員候補者の推進について	可決 可決 可決 可決 可決
令和5年6月22日 (第44回)	議案第119号 議案第120号 議案第121号 議案第122号	理事長の選定について 副理事長の選定について 常務理事の選定について 評議員選定委員会委員の選定について	可決 可決 可決 可決
令和6年3月27日 (第45回)	議案第123号 議案第124号 議案第125号	令和6年度 事業計画について 令和6年度 収支予算について 評議員候補者の推薦について	可決 可決 可決

2 評議員会の概要

開催年月日	案件番号	案 件	可否
令和5年4月11日 (第23回) 書面決議	議案第43号	理事の選任について	可決
令和5年6月16日 (第24回)	議案第44号 議案第45号 議案第46号 報告第13号	令和4年度 決算について 理事の選任について 監事の選任について 令和4年度 事業報告について	可決 可決 可決 了承

3 評議員選定委員会の概要

開催年月日	案件番号	案 件	可否
令和5年5月18日 (第9回)	議案第9号	評議員の選任について	可決

4 役員の状況（令和6年3月31日現在）

○理事

- ・理事長 崎野 圭子
- ・副理事長 岩崎 充臣
- ・常務理事 山口 知義
- ・理事 西尾 弘子、竹内 利江

○監事 山本 直樹、岸本 智洋

5 評議員の状況（令和6年3月31日現在）

○評議員 藤野 一夫、望月 康恵、藤田 浩恵、永野 潔

6 評議員選定委員会の状況（令和6年3月31日現在）

○委員 林 祝雄、永田 晋也、高岸 益子、山本 直樹、黒谷 友紀

7 職員数（令和6年3月31日現在）

○事務局長 1名

○事務局員 14名

8 行政官庁許可事項（届出事項・登記など）

異動年月日	申請・提出先	内 容
令和5年4月13日	神戸地方法務局	公益財団法人変更登記申請
令和5年6月28日	兵庫県知事	変更の届出
令和5年6月28日	兵庫県知事	事業報告等の提出
令和5年6月29日	神戸地方法務局	公益財団法人変更登記申請
令和5年7月26日	兵庫県知事	変更の届出
令和6年3月30日	兵庫県知事	事業計画書等の提出